

## 市政に対する

# 一般質問

12月定例会の一般質問は、12月5日・6日・9日の3日間行われ、13人の議員が市政全般に対する諸問題について質問をしました。紙面の都合上、主なものを掲載しました。

なお、詳細については2月下旬発行予定の会議録（市役所市政情報コーナー、図書館及び地域公民館、市議会ホームページなどで閲覧可能）をご覧ください。

## 学校教育

### 学校での集団

#### 「フッ素洗口」

（フッ素うがい）に反対

三宅 盾子

（まちを住みよくなる会）

**問** 日本弁護士連合会では、2011年1月21日に厚生労働省、文部科学省、各地方自治体及び学校長に対し、フッ素洗口・塗布の中止を求める意見書を提出している。フッ素洗口・塗布には急性中毒、過敏症状の危険性があり、曝露量、年齢、体質によっては、歯のフッ素症や、全身影響への懸念も払拭されていない。また、劇薬である薬剤や洗液の保管、調剤管理、洗口の実施等が学校職員に任せられる

ことは安全管理上問題である。

フッ素の有効性、安全性への疑問や、試薬の保管の問題から、学校では行わないように求める。教育委員会として学校での集団的フッ素洗口を取り入れる計画があるのか。

**答** 平成24年度に策定された埼玉県歯科口腔保健推進計画では、う蝕率が高い26の市町村が指定され学校歯科医師がフッ化物を活用した総合的な保健事業を実施することも含まれている。有効性・安全性について十分情報提供し、保護者が納得して実施することが重要である。学校の実態に応じて対応していく。

**問** 学校という公的機関を通じて子ども達に集団的に実施することは、教師から、また、

保護者の間で目に見えない心理的、実質的な強制力が働き、人権問題である。歯磨きで虫歯予防は可能である。フッ素洗口による腹痛等の健康被害も報告されている。虫歯予防には、歯磨き指導や栄養指導が有効であると考ええる。

**答** フッ化物洗口ありきということではなく、学校の実態に応じて対応していく。

○「その他の主な質問」  
子宮頸がんワクチン接種中止

## 都市計画

### 武州荒木駅

#### 周辺整備計画

について

秋山 佳子

（黎明21）

**問** 行田市都市計画マスタープランの北部地域構想の中では、同地域の将来像と基本方針として、武州荒木駅周辺における土地利用の見直しが課題であるとしており、施策の方針では、地域生活環境の充実として、武州荒木駅周辺の活性化を図るため、土地利用の見直しを行うとともに、生活道路や駐車場、駐輪場など

の整備を推進するとある。武州荒木駅を活用した具体的な整備計画が全然見えない現状で、今後、どのように周辺住民に説明し、計画していくのか。

**答** 都市計画マスタープランの方針に基づき、武州荒木駅周辺のエリアの定住促進と地域コミュニティの維持を図っていきたいと考ええる。

なお、現時点では具体的な整備方針や整備計画を定める予定はないが、今年度、武州荒木駅北側周辺の一部地域の土地利用について、都市計画法第34条第11号区域指定の見直しを行う予定であり、今後、地域の皆様を対象に説明会を予定している。また、狭い生活道路の拡幅整備を引き続き推進するとともに、地域公共交通の充実を図り、利便性の向上に努めていきたい。

**問** 荒木地区内の県道佐野行田線は、朝夕の交通量が大変多く、歩道が無いため自転車や歩行者が大変危険な状況にあることから、整備促進重点箇所として、早急な整備が必要と考えるがどうか。

**答** 毎年度事業主体である埼玉

玉県へ整備要望を行っており、今後も引き続き、未整備箇所を含めた安全対策を重点的に要望していく。

○「その他の主な質問」



秩父鉄道・武州荒木駅

## 環境問題

### 浄化槽の

#### 法定検査に

ついて

大河原 梅夫

（公明党）

**問** 水と緑のまち行田の活性化につながるプロジェクトとして、川の維持管理や利活用、水質浄化に取り組んでいる。平成23年10月から浄化槽の新定期水質検査制度がスタートし、年4回の保守点検と年1回の清掃、定期水質検査が法律で義務付けられた。しかし、この法定検査を受ける事